

図書だより夏号 (2021年6月26日(土)発行)

ますます夏も深くなり、皆様いかがお過ごしでしょうか。

気温も暑くなるにつれ、屋内で過ごす時間も増えることかと思えます。

そんな折に暇つぶしや、勉強の合間の息抜きとして本を読むのはいかがでしょうか。

今年度新しく着任された先生方に「本」に関するアンケートを行いました。

1. 好きなジャンルの本
2. 今まで読んだ本の中で一番好きな本(理由)
3. 青雲生に読んでほしい本

井川先生(教頭)

1. 推理小説やミステリー

2. 有川 浩さんの『阪急電車』

それぞれの乗客の物語がうまく展開されていて面白いと思います。読み終わった後に「人として大事なこと」についても考えさせられました。

3. ジャンルにとらわれず、いろいろな本を読んでほしいと思います。

宮田先生(社会科)

1. マンガ、ノンフィクション

2. 『これからの「正義」の話をしよう』 マイケル サンデル(いまを生き延びるための哲学)
正義とは何か、何を信念に、どういう価値観を持って生きるのか、等々のきっかけを分かりやすい例を挙げながら書かれているため、思考することの楽しさを発見できますよ！

3. 『古事記』(現代語訳)、竹田恒泰著(学研)

野津先生(数学科)

1. 小説

2. 『夜のピクニック』 思田 陸 初めて勤めた学校でも、同じように夜通し50km歩いていくという行事があり、共感する部分があったので。

3. 『夜のピクニック』『本を読む人だけが手にするもの』

自分の好きなジャンル、完成に任す、売れている... などいろんな本を手にとってみてください!!

吉岡先生(理科)

1. 推理、探偵、科学分野

2. 受験のことも考えて有名作家の本

読み込んでいくと「なるほど」と思えてくる。

3. 『こころ』

奥田先生(国語科)

1. ミステリー、特に本格推理小説が好きです。また、「イヤミス」(後味が悪く、嫌な気持ちで終わるミステリー)もよく読みます。心身が健康な時にしか読めませんが...。反対に日常系のほのぼのした小説も好きです、特定の職業をテーマにした小説も面白いのでよく読みます。
2. 一番は決められないので何冊か
 - ・『阪急電車』 有川 浩 舞台となっている阪急今津線に住んでいたのも物語がとても身近に感じられました。日常が丁寧に描かれています。
 - ・『容疑者Xの献身』 東野 圭吾 ガリレオシリーズは全部好きですが、これと『真夏の方程式』がとにかく切なくて印象に残っています。
 - ・『舟を編む』 三浦 しをん 辞書を作る人たちの物語で、普段当たり前に使っている日本語について深く考え直すきっかけになります。
3. 面白い本も面白くない本もたくさん読んで、自分に合うものを見つけてほしいです。長編を読むのが苦手なら、短編集をおすすめします。(星新一の本はどれも読みやすく面白いです。)「私の好きな本」で挙げたものもどれも面白く、また映画化されているのでとっつきやすいと思います。本屋さんや図書館にたくさん足を運んで、気になったものを読んでみてください。

森先生(社会科)

1. 歴史系、マンガ
2. 『これからの「正義」の話をしよう』 マイケル サンデル
哲学入門という本で自分が正しいと思っている身近なことが本当にそうなのか考えさせられるため。
3. 『紙の本は滅びない』 福嶋 聡

弘中先生(数学科)

1. スポーツ選手などの自叙伝です。
2. 星野仙一さんの『決断のリーダー論』、長谷部誠さんの『心を整える』
理由は監督やキャプテンをしてきた人のものの考え方や行動を知り、自分に取り入れていきたいからです。
3. 『16歳の教科書』『ぼくは勉強ができない』

榮先生(家庭科)

1. 小説、絵本 (2. 選べませんでした)
3. 『高みの見物』 北 杜夫

図書だより係

編集、レイアウト 竹口、友野 インタビュー 清水、山本、高木、船田